



平成22年5月20日

各 位

会 社 名 三協・立山ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 要 明 英 雄
(コード番号 3432 東証第一部)
問合せ先 経営企画統括室 竹田 光 宏
広報・IR部長
T E L 0 7 6 6 - 2 0 - 2 3 3 2

マテリアル事業における子会社再編効果について

平成22年1月8日付け「マテリアル事業における子会社の再編について」にてご案内の通り、平成22年6月1日を期して、連結子会社である「三協マテリアル株式会社（以下、三協マテリアル）」と、連結子会社である三協立山アルミ株式会社の子会社で同じく連結子会社の「富山合金株式会社（以下、富山合金）」の統合に向けて準備を進めておりますが、この度、統合効果についてまとめましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 再編の目的と概要

当社グループでは、主要事業の1つであるマテリアル事業について、環境・省エネニーズの高まりにより成長が見込まれる輸送機器や電気機器関連分野の市場開拓を、かねてより強力に推進しております。

今回、原材料の鋳造工程を担う富山合金を、三協マテリアルを存続会社とする吸収合併により統合し、鋳造工程から押出・表面処理・加工までの一貫した体制を構築、関連する技術的資源を集約いたします。これにより、合金開発の段階から高度化するお客様のニーズを捉えた、より付加価値の高い製品の開発・製造を可能とし、市場でのさらなる競争力の向上を図ります。

2. スケジュール／合併の日程

平成22年6月1日 合併期日

3. 統合効果

マテリアル事業における子会社再編による事業競争力強化により、5年後には三協マテリアルの売上高を800億円（内、外部顧客向け販売510億円、統合効果による外部顧客向け販売増加+120億円）、外部顧客向け販売の営業利益率6.9%（高付加価値商材の比率増による利益率向上）を目指します。

なお、平成23年5月期の業績に与える影響は軽微であります。

(参考)

・合併当事会社の概要

①商号	三協マテリアル株式会社 (合併会社)	富山合金株式会社 (被合併会社)
②事業内容	アルミニウム及びマグネシウムの押出・加工ならびにその販売	アルミニウム合金素材、マグネシウム合金素材等の製造事業
③設立年月日	平成19年6月1日	昭和61年10月24日
④所在地	本社：東京都中野区中央1丁目38番1号 高岡本社：富山県高岡市北島851	富山県射水市奈呉の江8番地の3
⑤代表者	代表取締役社長 蒲原 彰三	代表取締役社長 稲場 大二
⑥資本金	450百万円	1,000百万円
⑦決算期	5月31日	5月31日
⑧株主	三協・立山ホールディングス株(100%)	三協立山アルミ株(100%)
⑨売上高	242億円(平成21年5月期実績)	450億円(平成21年5月期実績)
⑩従業員数	約500名	約160名

・合併後の状況

①商号	三協マテリアル株式会社
②事業内容	アルミニウム及びマグネシウムの鋳造・押出・加工ならびにその販売
③設立年月日	平成19年6月1日
④所在地	本社：東京都中野区中央1丁目38番1号 高岡本社：富山県高岡市北島851
⑤代表者	代表取締役社長 蒲原 彰三
⑥資本金	450百万円
⑦決算期	5月31日
⑧株主	三協・立山ホールディングス株(100%)

以上